

アカボトル DECABOTTLE DECARBONIZATION ART 脱炭素アートプロジェクト



愛媛愛。
やけん、デカボ。
河原デザイン・アート専門学校
グラフィックデザイン専攻 / イラスト・雑貨デザイン専攻

特設サイト
「愛媛愛。やけん、デカボ。」



制作コンセプト

「ぼやけた未来、ぼやけない意識」

ペットボトルでできた「デカボトル」の中に入ると、外の世界がぼやけて見えます。
外側から見ると、中に入った人がぼやけて見えます。

安易にプラスチック製品を使い続け、廃棄し続ければ
いつか私たちの未来もデカボトルのように
不透明なものになります。

今こそ環境問題について考え、行動をはじめてみませんか。
マイボトルを持参する、ペットボトルをリサイクルする。
環境に配慮した行動を選択していくば
ぼやけない未来が待っているのではないでしょうか。

企画意図

愛媛県は脱炭素社会に向けて脱炭素（＝デカボナイゼーション）を
推進する啓発活動を積極的に行ってています。
その一環となる“デカボアート”として企画したのが
使用済みペットボトルをリサイクルした「デカボトル」です。

この趣旨に賛同した河原デザイン・アート専門学校の
学生たちとのコラボレーションで制作。
今年2月8日に、松山市の三越前・大街道商店街で
開催された「えひめ愛顔のデカボ商店街」にて発表を行いました。

当日、展示したデカボトルには来場者に自由に出入りしていただき、
デカボアート自体を体感し、楽しんでもらう。

同時に、中に入っている様子を
撮影した写真をSNSにアップしてもらえるよう、
さらなる啓発につながる仕掛けづくりにも取り組みました。

